

令和8年度 第1回 大阪市立鯉江中学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立鯉江中学校

校長名 今垣 清彦

日時	令和8年5月19日(火)	
場所	鯉江中学校 校長室	
資料送付者	委員など	委員5名
	校園	校長 今垣 清彦 教頭 山村 克彦
	区役所	城東区役所 保健福祉課 子育て教育担当 1名
議題	(1)令和8年度「運営に関する計画」	
協議要旨	意見の概要	
	(1)	<p>○学校長より「運営に関する計画」の説明と本校の課題の説明</p> <p>【安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。等 <p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生チャレンジテストにおける、国語・数学の平均正答率の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.03ポイント向上させる。等 <p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する生徒の割合を75%以上にする。 ・時間外勤務時間について、月100時間以上実施する教員をゼロにする。等 <p>《本校の課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校生徒が多い・教職員の時間外勤務時間 <p>○意見の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導員の活用と、地域移行の現状。 「部活動の現状が理解できた。」 ・不登校生徒への具体的対応 SSR活用の充実 人材の確保 「不登校生徒への具体的な対策が示されて良かった。」 ・さまざまな人材を確保し、生徒へのきめ細やかな対応と教職員の負担軽減。 「教職員の働き方の現状が理解できた。」
協議資料	令和8年度「運営に関する計画」 2026年度「教科等年間指導計画」	
備考	傍聴者[0]名	